

ふれあいフェスタ老松



【老松学区】

■世帯数：8,204 世帯

■人 口：11,731 人

■面 積：0.820km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 鶴舞集会所にて年に 1 回「ふれあいフェスタ老松」を開催。参加者数は約 150 人。
- ・ 世代を問わず多くの人に参加できるよう、手芸、書道、絵画などの作品展示、女性会によるお茶席、リサイクルバザー、トワイライトスクール主催の子どもの作品展示など複数の企画を行う。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、女性会会員チラシと各配布

【アピールポイント】

作品展示、リサイクルバザー、お抹茶席などの同時開催によって参加者が多くなった。開催日を毎年 11 月 3 日と決め、毎年開催することにより次回を楽しみに作品づくりに励むとの声もある。

2 きっかけ、背景

地域住民の交流の拠点づくりが目的。地域住民の趣味の作品展示の場、リサイクルバザーなどを同時開催し、気楽な参加を促している。作品展示や搬出は区政協力委員会が協力している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、女性団体・女性会
計約50人

(2) 他団体との協力

老松学区区政協力委員会

(3) 運営協力

ふれあいミニ運動会（三世代交流会）や市女性会体育祭など折にふれ若い世代に協力を呼びかけている。

4 実施のスケジュール

H20年
8月

「趣味の作品を展示したい。リユースバザーの会場が必要。」との声があがる

9月

女性会役員会、定例会、区政委員会と相談し、開催を決定

11月1日

環境バザー値付け等準備

11月2日

作品飾付け、環境バザー、お茶席の準備

11月3日

第1回開催（以後毎年同日に開催）

11月4日

作品搬出、片付け

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 参加者の増加、住民意識の高まり、交流の深まり。回を重ねるごとに展示作品や参加者が増える。住民間の会話がはずむ。

(2) 苦労した点

- 活動の担い手が不足している。昼間勤めに出ている人が多く、準備段階での運営スタッフが少ない
- リサイクルバザーの提供品が少なくなっている。

(3) 今後の課題・展望

- 活動の継続、担い手の世代交代、活動資金の確保が課題。平成24年度で5回目の開催となるが、継続は力なりか、地域住民が楽しみにしてくれている。女性会員と若い世代の担い手を増やしていきたい。

